

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 1 月 27 日(2023.1.27)

【公開番号】特開 2022-1137(P2022-1137A)
【公開日】令和 4 年 1 月 6 日(2022.1.6)
【年通号数】公開公報(特許)2022-002
【出願番号】特願 2020-106572(P2020-106572)
【国際特許分類】
A 6 3 F 5/04(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 5/04 6 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 1 月 19 日(2023.1.19)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

複数の図柄を複数列に変動表示可能な変動表示手段と、
当籤役を決定する当籤役決定手段と、
前記当籤役決定手段による決定結果と遊技者の停止操作とに応じて図柄の変動表示を停止させる停止制御手段と、
特定状態において、所定付与条件の成立に応じて所定値を付与可能な所定値付与手段と、
前記特定状態において、前記所定値の付与状況が所定の閾値以上となった場合、所定の特典を付与可能な特典付与手段と、
前記所定値の付与状況を報知可能な報知手段と、を備え、
前記報知手段は、
前記特定状態において、前記所定値の付与状況の一部を報知しないことがあり、
前記特定状態の最終ゲームにおいて、報知されている前記所定値の付与状況は前記所定の閾値未満であるが、実際の前記所定値の付与状況が前記所定の閾値以上となっている場合、
特定状態の最終ゲームにおける前記所定値の付与状況が前記所定の閾値未満であるときに前記所定付与条件が成立して前記所定値の付与状況が前記所定の閾値以上となった場合に行われる報知と同様の報知を行うことが可能であることを特徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 2
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 2】

40

従来の遊技機において、遊技者に有利な停止操作の情報が報知される特別遊技状態（例えば、A T 遊技状態）と、この特別遊技状態への移行期待度が通常遊技状態よりも高い特殊遊技状態（例えば、C Z（チャンスゾーン）状態）とを設けるようにしたものが提案されている（例えば、特許文献 1 参照）。

【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 3

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2015-104445号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

10

ところで、このような遊技機では、例えば、その遊技性が単調であると、遊技の興趣が低下してしまうおそれがあるという問題があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

複数の図柄を複数列に変動表示可能な変動表示手段（例えば、変動表示部）と、
当籤役を決定する当籤役決定手段（例えば、内部抽籤処理を行うメインCPU101）と

20

前記当籤役決定手段による決定結果と遊技者の停止操作とに応じて図柄の変動表示を停止させる停止制御手段（例えば、リール停止制御処理を行うメインCPU101）と、
特定状態（例えば、CZ2状態）において、所定付与条件の成立に応じて所定値（例えば、CP）を付与可能な所定値付与手段（例えば、CPを付与可能なメインCPU101）と、

前記特定状態において、前記所定値の付与状況が所定の閾値（例えば、5）以上となった場合、所定の特典を付与可能な特典付与手段（例えば、CZ2報酬抽籤を行うメインCPU101）と、

前記所定値の付与状況を報知可能な報知手段（例えば、演出表示部）と、を備え、

30

前記報知手段は、

前記特定状態において、前記所定値の付与状況の一部を報知しないことがあり、

前記特定状態の最終ゲームにおいて、報知されている前記所定値の付与状況は前記所定の閾値未満であるが、実際の前記所定値の付与状況が前記所定の閾値以上となっている場合、
特定状態の最終ゲームにおける前記所定値の付与状況が前記所定の閾値未満であるときに前記所定付与条件が成立して前記所定値の付与状況が前記所定の閾値以上となった場合に行われる報知と同様の報知を行うことが可能であることを特徴とする遊技機である。

この遊技機によれば、遊技性を高めることができ、遊技の興趣を高めることができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

40

50